

基本情報

指標番号
2056

名称
急性膵炎に対する入院2日以内のCT実施割合

分母
急性膵炎で退院した症例

分子
分母のうち、入院日から2日以内にCTが施行された症例

指標群
消化器系

意義
急性膵炎においては、診断、重症度判定のためCT検査を施行することが勧められている

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット
DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、急性膵炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする

ICD-10コード	病名
K85	急性膵炎 (ICD10 ver.2003)
K85\$	急性膵炎 (ICD10 ver.2013)

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 入院2日以内にCT検査を受けた症例。EFファイルで入院日または入院日翌日に下記のいずれかが請求されている症例

レセ電コード	行為名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
170033410	CT撮影(64列以上マルチスライス型機器)		○	○	○	○	○	○
170011810	CT撮影(16列以上64列未満マルチスライス型機器)	○	○	○	○	○	○	○
170028610	CT撮影(4列以上16列未満マルチスライス型機器)	○	○	○	○	○	○	○
170011710	CT撮影(その他)	○	○	○	○	○	○	○

レセ電コード	行為名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
170034910	CT撮影（64列以上マルチスライス型機器）（共同利用施設）			○	○	○	○	○
170040210	CT撮影（64列以上）共同利用施設（画診共同）							○
170040410	CT撮影（64列以上）（その他）（画診共同）							○
170040610	CT撮影（16列以上64列未満）（画診共同）							○
170040810	CT撮影（4列以上16列未満）（画診共同）							○
170041010	CT撮影（イ、ロ又はハ以外）（画診共同）							○

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 急性膵炎においては、診断あるいは重症度の判定のためにCTの施行が勧められている
2. 2010年ガイドラインでは「CTを施行すべきである」となっていたが、2015年ガイドラインには「積極的に造影ダイナミックCTを施行すべきである（中略）単純CTのみでは原因となる膵腫瘍が見逃される危険性が高い」となった。CT撮影の有無だけでなく、「造影剤使用加算」の算定有無の評価も考慮する必要がある。2021年ガイドラインでは

参考資料

参考値

参考資料

1. 急性膵炎診療ガイドライン 2010
2. 急性膵炎診療ガイドライン 2015
3. 急性膵炎診療ガイドライン 2021